

【担当教員名】 伊東 正裕	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【一般目標：G I O】
社会福祉士として、心理的な相談のための面接を適切に行なうために、カウンセリングの理論上の諸問題について多角的に検討し、人間への理解を深める。

【行動目標：S B O】

1. カウンセリング理論を「学ぶこと」の意義を説明できる。
2. カウンセリングをめぐる理論的諸問題を挙げ、概略を説明することができる。
3. カウンセリングをめぐる理論的諸問題について、自分の意見を述べるができる。
4. ケース・スタディの意義について説明し、ケース・レポートを適切に書くことができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション：カウンセリング理論を学ぶ意味、「技法」と「理論」の関係	1	講義
2	他者理解の方法としての面接：カウンセリングの目的、面接法の特徴	2.3.	講義
3	人を分かるということ：サインの解読、「人として」の理解	2.3.	講義
4	カウンセリングの構成要素：聴くこと・見ること・対等な出会い・専門的關係・ストーリー	2.3.	講義
5	ストーリーと「見立て」：構造化された観察、ストーリーを読む、「見立て」を立てる	2.3.	講義
6	共感とは何か：共感と同情、一体感と距離感、カウンセリングにおける共感	2.3.	講義
7	カウンセリングにおける観察：科学者の観察と面接者の観察	2.3.	講義
8	「出会い」について：「出会い」とは、自己の構造	2.3.	講義
9	カウンセリングと言葉：日常語と専門語、方言と標準語、言葉の意味	2.3.	講義
10	カウンセリングの展開：受けとめること、見守ること	2.3.	講義
11	家族の問題：家族の扱い方、家族の問題の理解	2.3.	講義
12	劇としてのカウンセリング：クライアントの役割と面接者の役割	2.3.	講義
13	フロイトとロジャーズの理論：精神分析的カウンセリング・来談者中心カウンセリング	2.3.	講義
14	ケーススタディについて：ケース・スタディの意味、ケース・レポートの書き方	4	講義・実習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>	
教科書	面接法	熊倉伸宏	新興医学出版	2002	1500円
参考書	新訂・方法としての面接	土居健郎	医学書院	1992	1800円
その他の資料	毎回プリントを配布する。				

【評価方法】 出席状況 定期試験（レポート）	【履修上の留意点】 この授業では、1年次生を対象とした「カウンセリング技法」と共通のテキストを用いるが、今回は理論的な問題を中心に取り上げるので、カウンセラーの倫理や基本的な態度については、テキストを通読して理解しておくこと。
------------------------------	--